



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく(徳)
- かしこく(知)
- たくましく(体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和6年4月12日
第3号 文責 鈴木 博貴

令和6年始業式『決意新たに！ 遅くなった在校生が桜満開の校庭に集う！！』

【令和6年度 始業式・式辞（概要）】 新しい令和6年度が幕を開けました。こうして元気な皆さんに会えて、とても嬉しいです。今日から皆さんは、学年が1つずつ上がりました。**進級おめでとう**。今の気持ちは、いかがですか。新たな目標をもって今日を迎えた人も多いと思います。



春休み中、6年生が新学期の準備のために登校してくれました。皆さんが気持ちよく学校生活をスタートできるように、全ての教室に机や椅子を運んで数を合わせ、教室や廊下、トイレ、ロッカーなど学校中を隅々まで一生懸命きれいにしてくれました。6年生の素晴らしい働きぶりに先生たち全員が感心しました。

6年生の皆さん、改めてありがとう。この一年間、南小の最上級生リーダーとして、大いに活躍してくれることを期待しています。／**2年生から5年生の皆さん**、顔をこちらに向けてお話がしっかり聴けていますね。新しい学年・学級になり、「よし、がんばるぞ！」という気持ちがしっかり伝わってきます。今日、**新しい1年生**が入学してきます。是非、優しくて思いやりの心があり、頼もしく「お手本」になるお兄さん・お姉さんになってくださいね。

◎今年度も皆さんは、『南っ子の合言葉』＝『やさしく かしこく たくましく』を目指して頑張ります！

一つ目、『やさしく』。ここにいる全員が、もっともっと優しい人になってください。仲間のよいところをたくさん見つけ、お互いを認め合い、誰とでも仲良く、助け合う。『己の欲せざる所、人に施すことなかれ』。南小には、人の嫌なことを言ったり、したりする人がいない、『思いやりと優しさがいっぱいの学校』が「南小の大きな自慢」です。

二つ目、『かしこく』。よく勉強ができる子は、話す人の目を見て、お話をよく聴きます。勉強がわかり、できるようになるためには、話をしっかり聴くことから始まります。勉強だけではありません。生活の全てにおいて、皆さんは人の話をしっかりと聴くとともに、自分で考え、判断し、正しい態度や行動がとれる人になりましょう。

三つ目、『たくましく』。たくましくて丈夫な子は、元気に外で遊び、苦手なことも諦めずに最後まで頑張ります。辛いことや苦しいことにもへこたれずに、「よし、やってみよう！」、「やればできる！」と、明るく、元気に、前向きに様々なことに挑戦して心と体をしっかりと鍛えましょう。

最後に、南小は、今年で45年目になる歴史と伝統のある素晴らしい学校です。これまで数えきれないくらい大勢の人達が、この南小を素晴らしい学校にするために努力してきました。「学校生活の主演は皆さん」です。今年度もそうした大勢の方々の熱い想いを大切に、もっともっと素晴らしい南小を創っていくため、皆で力を合わせていきましょう。皆さんの頑張る姿、団結の力を大いに期待しています。

【南っ子のみなさんへ】「ボクは『なんぷう』。一緒に楽しい南小にしていこうね！」

南っ子のみなさん、ご入学・ご進級、おめでとう！ 改めまして、ボクは、南っ子たちを応援する南小のマスコット、「なんぷう」です。南小で生まれて、今年で9歳になります。「南の風」がボクの名前の由来だよ。南小の校歌の歌詞にある「太陽に向かって 1・2・3！」のように、太陽のような「たてがみ」、かっこいいでしょ。「しっぽ」も、校歌の「生まれたばかりの若い芽」を表しているのさ。ボクの後ろ姿も素敵でしょ。何かに見えない？ そう、校舎の前に大きくそびえる南小のシンボルツリー「くすのき」だよ。今年もボクは、頑張る南っ子たちを応援していくよ！ 一緒に楽しい学校生活にしていこうね！！



【児童代表の言葉『令和6年度も決意新たに！』（修了式にて）】

昨年度の修了式。児童代表2名が、全校で1年間を振り返っての頑張りと新年度に向けての決意を立派に発表してくれました。全校児童たちも発表をしっかりと聴きながら、自分自身を振り返り、新年度への新たな決意を胸に抱いたことと思います。代表児童の発表内容を改めてご紹介します。



『ぼくが1年間ががんばったこと』 現2年 □□ □□

ぼくが、1年間ががんばったことは3つあります。

1つ目は、足し算と引き算の計算です。毎日、家で計算カードを使って練習しました。はじめは、答えを言うまでに時間がかかりました。でも、毎日やるうちに、早く計算できるようになりました。今では、くり上がりのある足し算カードを50秒ぐらいで全部できるようになりました。

2つ目は、なわとびです。ぎょう間休みに、たくさんなわとびをしました。友だちに、「交差とびは、手で大きくバツをつくってとびといいよ。」と教えてもらって、その通りやったら、とびことができるようになりました。これからも練習して、もっといろいろなとび方ができるようになりたいです。

3つ目は、じきゅう走大会です。元気いっぱい走ったら、4位をとることができました。さいごまでがんばってよかったです。家に帰ったら、お母さんが、「がんばったね。すごいよ。」とほめてくれて、とてもうれしかったです。2年生になったら、もっと足が速くなれるように、じきゅう走をがんばろうと思います。

ぼくは、1年生でできるようになったことがたくさんあります。友だちもいっぱいできて、楽しく過ごすことができました。2年生になったら、新しい1年生に学校のことをたくさん教えてあげたいです。そして、やさしいお兄さんになりたいです。



『1年間を振り返って』 現6年 □□ □□

5年生になってから様々な経験をしました。1年間で心に残ったことは3つあります。

1つ目は、連合運動会です。5年生になって、初めての連合運動会でした。様々な競技があり、その中で私は走り幅跳びに出ました。練習では、自分に合った歩数を考えたり、

千代田中学校の陸上部の先輩に来てもらい、フォームを教えてもらったり、どの場所で跳ぶのがよいかを教えてもらったりしました。本番では、記録は伸びませんでした。目標を立てて練習をがんばったのはとても良い経験だったと思いました。また、6年生になっても、新たな目標を立ててがんばりたいです。

2つ目は、委員会です。6年生と一緒に学校のために活動する委員会が5年生になって始まりました。私は掲示委員会に入りました。掲示委員会では、常時活動とともに掲示物やポスター作りなどを行っています。分からないことがあって最初はなかなか意見を発表できなかったり、6年生と話すことができなかったりしたけれど、周りにいた6年生や先生方が優しく教えてくれて、進んで活動することができるようになりました。私は今の6年生のような、下級生に教えられる6年生になれるようにがんばりたいです。

3つ目は、友達や先生が優しく接して応援してくれたことです。私は体調が悪く、しばらく休んでしまった時がありました。その時に、友達がたくさんの手紙を書いてくれたり、先生たちが早く治るようにと応援してくれたりしました。私は、心から嬉しく思いました。

1年間を振り返って、様々な出来事がありました。嬉しかったこと、楽しかったことがほとんどでしたが、中には、思うようにはいかず、辛い時もありました。けれど、あきらめずにがんばったら、最後には笑顔で終わることができました。次は、最上級生になって、南小を引っ張っていかなくてはなりません。そんな中、苦しいことや悲しいこともきっとあると思います。その壁を乗り越えて、みんなと笑顔いっぱい楽しい思い出をたくさんつくっていきたいです。また、何事にもがんばれる、下級生のお手本となる最上級生になりたいです。



【夢道場・南小『ほっとニュース』】

『花壇の手入れ作業』学校応援団の皆さん

南小の花壇には、いつも季節ごとの花々が咲き誇っています。「子供たちのために潤いのある環境を」との熱い想いで、花壇ボランティアの皆さんが、入学式・始業式前にも花の手入れや水やりを行ってくださっていました。いつも本当に有難うございます。



【校長室より】『笑顔いっぱいの夢道場』

南小の校長3年目。昭和55年開校以来45年の伝統を継承しつつ、「令和の日本型学校教育」の構築を意識して全教職員で教育に当たってきた。目指す学校像として掲げた『笑顔 感動 花いっぱいの夢道場』。新年度を迎え、南小には子供たちの笑顔が溢れている。子供の笑顔は正直。「幸せが笑顔をつくり、笑顔が幸せを呼ぶ」。今年度も、この笑顔を大切にしたい。